



廣部 真造 議員

高島市内における
新型コロナウイルス
感染症の対応について

問

高島市内における
新型コロナウイルス感染症
の対応について。

答

市医師会と地域医療連携推進法人滋賀高島
とより強い連携を求めていきたい。

問

市内開業医院を含む医療機
関同士の連携体制はどのよう
になっているのか。

答

健康福祉部長

インフルエンザの流行と新
型コロナウイルス感染症によ
る多くの市民の方の受診が想
定される中、診療体制の整備
が必要であると認識しており
ます。高島市民病院において
も体制強化を図っていますが、
高島市医師会や地域医療連携
推進法人滋賀高島におきまし
ても、新たな発熱外来の設置
に向けた検討を進めていただ
いています。

問

年齢に無関係に無料でイン
フルエンザ予防接種をすべき
であると考えるが。

答

健康福祉部長

従来から実施しております
65歳以上の高齢者等に加え、
優先度が高いとされています
義務教育以下の子どもや、妊
婦につきましても助成対象を
拡充する方向で、現在検討し
ています。

問

介護福祉施設の協力体制に
ついて。

答

健康福祉部長

滋賀県において、事業所間
における相互応援システムの

問

問

発熱外来についてもう少し
詳細に説明をお願いします。

答

病院事務部長

仮設ハウスを設置すること
で、一般外来と本来の救急外
来に加え成人の方、小児の方
それぞれの発熱外来を分け、
感染防止と感染者および感染
の疑いのある方の診察体制も
充実していけるのではないかと
考えております。また、電

全県的な構築に向け検討中
であります。本市も、県が構築
を進めている相互応援システ
ムに沿い、関係機関と協議を
進めているところです。

話予約制とすることで患者様
の待ち時間に伴う負担の軽減
と、検査を含めた診察の効率
化を図るため実施させていた
だくものです。

問

発熱外来における予約電話
時の対応について。

答

病院事務部長

症状に応じて臨機応変に対
応する必要があると考えてお
ります。



発熱外来



インフルエンザ予防接種